

幼児・年長グループ指導のご紹介

スタッフ 岡 純子

年長児のグループ指導目標の1つに学習前スキル（準備や片付け、集団の中で指示を聞き活動に参加する文字の読み書きへの関心、数の基礎的な概念の理解）の定着を図る、があります。それぞれのグループやお子さんの様子によって、力点の置かれた方は少しずつ異なりますが、どれも大切な課題です。今回はその具体的な内容についてご紹介します。

* 準備や片付け

就学に向けてスモールステップで楽しく準備をしていきますが、小学校に入学するとまずびっくりするのが、たくさんの学用品があることです。各教科の教科書やドリル、ノートだけではなく、その日その日で必要な持ち物があります。そういった学用品が、よく遊んでいるおもちゃや絵本と一緒にいたら、いつも探し物をしていなければなりません。場合によっては、忘れ物や失くし物がとても多くなってしまいます。お子さんが普段過ごしている部屋に、入学後色々な物が増えていくことをイメージして、どのような工夫ができるかを一緒に考えたいと思います。

持ち物の定位置を決めたり、なるべく短い動線でお子さんが準備できるようにしてあげる環境調整と同じように重要なのが、子ども自身の準備や片付けに取り組む力、段取り力です。年長の半ばを過ぎると入室してからの準備は、絵や文字で書かれた手がかりの順番に行います。周囲の大人が口頭で指示を繰り返すのではなく、自らやり遂げていくための工夫です。また、道具箱に持ち物を入れたり連絡プリントに視写をするなど、時間をかけて練習する中で準備の仕方や持ち物のチェックの仕方がみんな上手になっていきます。

先日、小学生になったグループの卒業生のお母さんから「学校から持ち帰った遠足のお

知らせに鉛筆で○をつけて自分で！準備していました」と嬉しい報告がありました。ご家庭や指導の中での工夫がしっかり実っている姿をお聞きし一緒に喜びました。

* 集団の中で指示を聞き活動に参加する

話を聞く姿勢や態度を作っていくことも大切な課題です。今、自分は話を聞くことに集中する時なのか、話をして良い時なのか場面を明確にして練習していきます。

また、長期休みの楽しかった出来事を写真日記として仕上げ、お友達や先生に伝えることもよく行います。5W1Hに沿って伝える内容を整理していくことで、日常生活の出来事の説明がわかりやすくなっていきます。お友達の発表に対して質問することも重要です。指導当初は自分の関心事を伝えることと、相手に質問することの違いが明確でない場合が多いですが、質問するときの話型「～でしたか？」が定着していくと「楽しかったですか？」「冷たかったですか？」と、お友達の話をも共感的に聞くことができ、発表も盛り上がります。

* 文字の読み書きへの関心

お子さんによって興味やスキルに違いがあるので、個別的に丁寧に指導していく領域です。消しゴムで消すこと、間違いを修正すること、声を合わせて読み上げることなど、単に文字の読み書きをドリル的に練習するのではなく、社会性の視点が盛り込まれています。

* 数の基礎的な概念の理解

ゲームの中で、どちらが多いやいくつ少ない、○個ずつ分ける、あといくつで○個になるなど、実物の操作を繰り返し、数の量的なイメージがもてるように配慮しています。

